



## 教養講座

# 花の色と香りと人との関係

人は古来より花を見ることで心の安らぎを得てきました。それは花の鮮やかな色と模様によってなされているものであるのは疑いようがありません。一方で、花には多様な香りがあり、こちらも人の心を揺さぶる大きな力が存在します。では、この両者には共通の関連性があるのでしょうか。本講義では花の色が作られる仕組みと香りが作られる仕組みを解説するとともに、人への影響について関係性を紹介します。

《日時》 2022年9月10日(土)  
14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)

《場所》 Home & nico ホール 江南市民文化会館  
2F 美術工芸室

《定員》 36名 《参加費》 無料  
※小学生以下保護者同伴

《申込み》 2022年7月17日(日) 9時~  
お電話にてお申し込み下さい。  
(問合せ先) 0587-55-2321  
(受付時間) 9:00 ~ 17:00 (第3月曜日休館)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等の影響により中止・延期になる場合がございます。

### < 講師プロフィール >



津呂 正人(つろ まさと) 名城大学農学部生物資源学科 教授  
2000年京都府立大学大学院農学研究科博士課程修了、博士(農学)。2000年より京都府農業資源研究センターにてバラやキク等の花き類やナス、トウガラシ、ダイコン等の野菜の品種改良に従事し、2005年より名城大学農学部にて園芸学研究室の講師として着任する。2009年に同准教授、2015年より同教授。名城大学着任後は園芸植物の品種改良に加えて花き類の香りの分析や改良に傾注し、植物の香りと向き合う日々を送っている。

